

酒田市人口ビジョン【概要版】

I 人口ビジョンの位置づけ

第2期の酒田まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、本市における人口の現状分析を行い、人口減少問題について市民と認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

II 人口ビジョンの対象期間

対象期間は、2060年（令和42年）までとします。

III 人口の現状分析

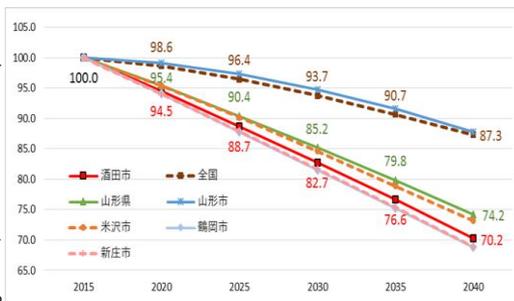
◆総人口の推移と将来推計

○酒田市の人口は、1955年（昭和30年）の128,264人をピークに減少し、1980年（昭和55年）に125,622人まで増加したものの、その後は減少の一途をたどっています。

○国立社会保障・人口問題研究所準拠推計によると、2040年（令和22年）は7万5千人程度、2060年（令和42年）は4万9千人程度まで減少することが見込まれます。

○2040年（令和22年）における本市の人口減少率（2015年比）は、県内平均を下回ることが見込まれます。

○年少人口と生産年齢人口の割合は低下し、高齢者人口の割合は上昇し、2040年（令和22年）には、高齢者1人を生産年齢人口1.07人で支える状況が見込まれます。



◆総人口の自然増減

○死亡者数の増加と出生数の減少によって1998年（平成10年）から自然減に転じ、2018年（平成30年）には1,023人のマイナスとなっています。直近の2018年（平成30年）の合計特殊出生率は「1.36」であり、人口置換水準といわれる「2.07」を大きく下回っています。

◆総人口の社会増減

○2002年（平成14年）以降、転出超過が続き、2018年（平成30年）は495人の転出超過となっており、進学や就職で転出（東京圏等）した若者が本市に戻らない傾向があります。

IV 人口の将来展望

◆目指すべき将来の方向と対策

【社会減対策】転出者の抑制と転入者の増加に向け、現状分析を行いながら効果的な施策を進めることにより、将来的な社会増減の均衡を目指します。

【自然減対策】ライフステージ（結婚・妊娠・出産・子育て・教育）ごとに切れ目のない支援を実施することにより、合計特殊出生率（出生数）の上昇及び維持を目指します。

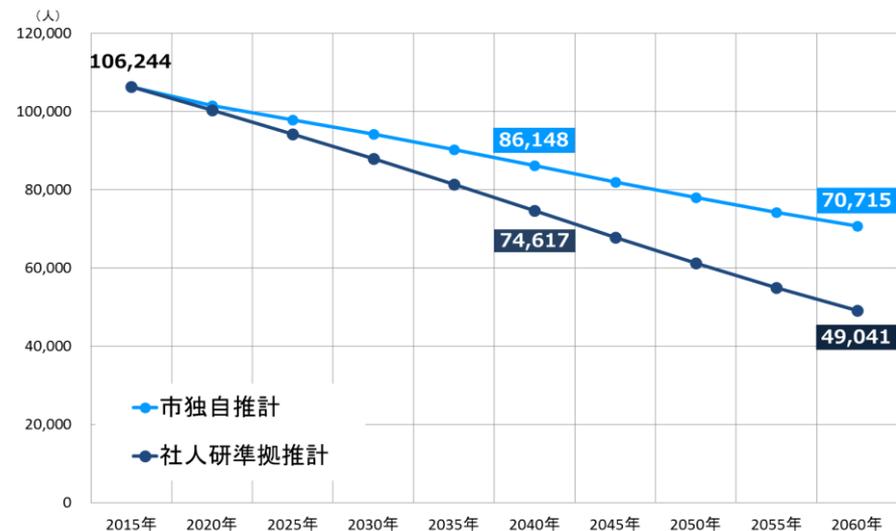
◆酒田市独自推計の前提条件

○合計特殊出生率が2025年に1.50に上昇し、2060年まで維持すると仮定

○社会増減が2040年までに均衡し、若い世代（15～49歳）については2025年までに均衡すると仮定

◆人口の将来展望

施策の効果により、自然増減、社会増減が一定程度改善され、人口減少に歯止めをかけることができれば、2040年（令和22年）に8万6千人程度、2060年（令和42年）に7万1千人程度の人口が確保されます。



1. 地域経済を牽引する産業の振興

2. 魅力あふれる農林水産業の振興

（1）新たな産業やビジネスの創出、産業力の強化

○産業振興まちづくりセンター（サンロク）による総合的な産業振興

- ・コワーキングスペースの運営
- ・ニーズとシーズをつなぐマッチング支援
- ・ビッグデータの活用、RPAの導入による生産性の向上
- ・開業支援、販路開拓支援、ICT活用等による新たなビジネスの創出
- ・再生可能エネルギー等の導入によるビジネスの創出
- ・農商工観連携による新たな売れる商品開発

○ものづくり産業、企業支援型サービス産業の人材確保・育成等強化

- ・即戦力となる高度人材の確保・育成、地域けん引事業者への設備投資支援

○オーダーメイド型の企業立地支援

- ・工場等の新設、拡充にかかる用地取得費、賃借料への支援
- ・地方拠点強化税制を活用した本社機能の移転促進

（2）「港」の物流機能を活かした産業競争力の強化

○使いやすい酒田港に向けた取り組みの推進

- ・官民一体となったポートセールス活動、荷主に対する効果的な助成

○新規航路の開拓による酒田港の利用拡大

- ・国内のRORO船やコンテナ船等の新規航路開設に向けた取り組み

○地域と協調した民間洋上風力発電の整備に向けた検討

- ・酒田港のエネルギー基地としての拠点化に向けた取り組み

○庄内空港を活用した物流の拡大

- ・三者連携協定を活かした県産農産物の輸出拡大の取り組み
- ・空港機能の強化、利便性向上に向けた取り組み

（1）夢があり、儲かる農業の振興

○担い手の確保・育成

- ・就農希望者への情報提供、高校生・大学生等への就農宣伝活動の実施
- ・新規就農者の安定経営の支援
- ・認定農業者等を地域農業の担い手に位置付けた農業経営に関する施策の重点的な実施

○複合経営の推進

- ・消費者、実需者のニーズに応じた「売れる米づくり」の推進
- ・高収益作物を取り入れた複合経営への転換の促進
- ・市場価値の高い酒田産農産物のブランド化の推進

○農商工観連携の推進

- ・安全・安心で高品質な農作物、付加価値の高い農産物の生産の推進
- ・農商工観連携による新たな売れる商品開発【再掲】

○販路・消費の拡大

- ・農産物や農産加工品の国内市場および東アジア等海外への販売促進、販路拡大の推進
- ・酒田産農産物による酒田ブランド、食文化の発信基地の整備

○畜産の振興

- ・国際化の進展等に的確に対応できる経営能力に優れた経営体の育成
- ・安全・安心な畜産物の生産体制の充実
- ・耕畜連携による循環型農業への取り組みと流通システムの構築

○スマート農業の推進

- ・未来型「土づくり・人づくり・稲づくり」をICTも活用したデータ整備によるシステム構築化
- ・システム化したデータを分析し、科学的アプローチによる「多収」、「良食味」、「低コスト」を実現する酒田発稲作農業変革ストーリーの発信

基本目標Ⅰ 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち

数値目標：施策効果による新規就業者の創出 800人【2020-2024年度の累計】
 数値目標：平均給与収入額 297.6万円【2018年】→335.4万円【2024年】

（2）100年続く森林（もり）を造り、活かす林業の振興

○持続可能で収益性の高い森林経営の促進

- ・計画的な森林整備に向けた森林経営計画の策定
- ・森林資源の循環利用による持続可能で収益性の高い森林経営の促進

○林業を担う人材の確保・育成

- ・素材生産業など木材の安定供給を担う人材の確保・育成

○酒田産木材の安定供給体制づくりと利用促進

- ・川上（林家、森林組合等）から川中（製材）・川下（建築関係者）までのネットワークの強化による酒田産材の需要拡大
- ・酒田産木材を使用した住宅の新築やリフォーム等への支援
- ・集成材の原材料や、木質バイオマス燃料を安定的に供給する体制づくり
- ・恵み豊かな森林資源を積極的に利用した農家林家の経営の安定化

○森林環境の保全

- ・地域の暮らしや産業の基盤となっている森林環境の保全

（3）恵み豊かな資源を活かす水産業の振興

○水産業を担う人材の確保・育成

- ・水産業を支える新規就業者や中核的担い手の確保・育成

○水産資源の確保とブランド化

- ・つくり育てる漁業の推進
- ・四季を通じた魚のブランド化の促進
- ・高品質な水産物を安定的に供給する体制づくり
- ・いか釣り船によるスルメイカの酒田港への水揚げの促進
- ・「いかのまち酒田」のPRによる水産業全体の活性化と市内産業への波及
- ・飛島における地形を活かした漁業や、新たな特産品の振興
- ・内水面漁業における地域と一体となった水産資源の維持・増殖への取り組み

○庄内浜産水産物の認知度向上・消費拡大

- ・庄内浜産水産物の特徴である多品種少量を活かした県内における利用拡大
- ・観光と連携した消費拡大の促進

3. 地元でいきいきと働くことのできる環境づくり

（1）Society5.0を見据えた「働き方改革」の推進

○産業振興まちづくりセンター（サンロク）による総合的な支援

- ・コワーキングスペースの運営【再掲】
- ・マッチング支援、ビッグデータの活用、RPAの導入による生産性の向上【再掲】
- ・開業支援、販路開拓支援、ICT活用等による新たなビジネスの創出【再掲】

○テレワークを活用した就労の促進

- ・テレワークセミナーの実施

（2）雇用のミスマッチ・人手不足の解消

○酒田雇用創造プロジェクトによる安定雇用の創出

- ・労働生産性を高めるための企業・求職者向けセミナー（RPA、IoT導入等）
- ・地域内企業を掲載した市内企業ガイドブックの作成
- ・市内での合同企業説明会の開催

○UIJターン人材バンクによる就職のマッチング

○地元定着に向けた魅力発信

- ・地域と地元企業の魅力の発信
- ・市内高校生および山形県立産業技術短期大学校庄内校の学生を対象とした企業見学「おしごと拝見ツアー」の実施

○人材不足解消に向けた市内企業への支援

- ・就職サイト、人材紹介サービスの利用に要する経費などへの助成

○適正な労働環境の確保

- ・長時間労働の是正、育児休暇等の取得促進、多様な働き方、同一労働同一賃金の実現に向けた市内企業等への意識啓発

○市内企業への就職を希望する若者への経済的支援

- ・県と連携した奨学金返還支援制度、東北公益文科大学生に対する奨学金返還支援制度

（3）多様な人材の活躍促進

○「日本一女性が働きやすいまち」に向けた取り組みの推進

- ・女性がいきいきと働きやすい職場環境・制度の整備を促す取り組み（女性活躍推進懇話会や女性活躍支援員の活動推進、酒田市版リーダーの会（仮称）の設立、企業への支援）
- ・市民フォーラム等を通じたチャレンジ意識の醸成

○高齢者の就業機会の確保

- ・企業訪問による「シニア世代歓迎求人」の開拓
- ・生涯現役支援窓口（ハローワーク酒田）との連携によるシニア世代の就職支援

○障がい者の活躍推進

- ・障がい者の職域開拓と自立に向けた就労支援の推進

○外国出身者の活躍促進

- ・日本語学習支援、生活相談窓口の設置による支援

1. 若者の定住促進

（1）東北公益文科大学との「大学まちづくり」による定住促進

○地元企業への就職の促進

- ・卒業後も酒田市で就業する学生に対する奨学金返還支援

○産学官の連携による人材育成

- ・メディア情報コースと連携したIT人材の育成
- ・山形県立産業技術短期大学校庄内校との連携

○東北公益文科大学生の地域活動の促進

- ・地域と大学との連携窓口となるコーディネーターの配置
- ・るんるんバスによる街なかの移動支援

○市内高校生に対する東北公益文科大学の知名度向上

- ・公益大体験（特別オープンキャンパス）への支援

○グローバル人材の育成

- ・ニュージーランド研究所との連携

○東北公益文科大学の公立化の検討

（2）郷土との絆や愛着の醸成による定住促進

○キャリア教育の推進

- ・ふるさとへの愛着と誇りを醸成し、自分の将来を切り開き自立して生きていく力の育成

○市内高等学校における地域課題を考えるプログラムの展開

- ・高校生版元気みらいワークショップの開催

○ふるさと教育の推進

- ・総合的な学習の時間等における地域人材と連携した地域の良さを学ぶ活動の充実
- ・酒田まつりの開催に合わせ学校を休業日とする「ふるさと休日」の取り組みの実施
- ・小中学生や高校生による地域行事や地域活動への参加を促進する取り組み

2. 移住・定住に向けた総合的対策の推進

（1）総合的な移住支援の継続とターゲットに合わせた情報発信

○移住相談者への総合的支援の継続

○移住検討者と本市をつなぐプログラムの展開

- ・移住検討者のニーズを分析した移住体験ツアーの実施

○移住検討層の属性に応じた戦略的な情報発信

- ・移住専用サイト、メディアの活用による積極的な情報発信
- ・本市と移住促進に関する協定を締結した民間企業と連携した取り組み

○生涯活躍のまち構想の実現に向けた取り組みの推進

- ・東京吉祥寺テラスの運営、生活クラブ生協のネットワークを活かした情報発信
- ・公民連携による地域交流拠点機能の構築

3. 移住・定住にもつながる「交流人口」の創出・拡大

（1）観光の振興、交流およびシティプロモーションの推進

○酒田観光戦略推進協議会による誘客促進

- ・既存イベント、まちあるきツアー等のブラッシュアップ
- ・旧割烹小幡を含む日和山公園周辺の賑わい創出
- ・観光客の滞在時間と観光消費額の増加に向けた山居倉庫、日和山公園、酒田駅前エリアを結び付ける取り組み
- ・鳥海山・飛島ジオパークの登録を強みとした観光資源の活用
- ・八幡・松山・平田地域と飛島を含めた着地型観光商品の造成と販売

○インバウンド観光の促進

- ・日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」構成団体等のネットワークを活かした地域の魅力発信

○MICEの誘致

- ・コンベンション等の開催支援

○スポーツおよびコンベンション機能を有する公共的ホール整備の検討

- ・交流人口の増加に向けた大規模なスポーツや文化の大会、展示会、学術会議など多様なイベント開催機能を有する公共的ホールの整備についての検討

○農商工観連携の推進

- ・本市の恵まれた自然と農産物を活かし、観光業者との連携による都市と農村との交流を深めるグリーン・ツーリズムの取り組みの推進

○市民と行政が一体となった「おもてなし」と情報発信の推進

- ・酒田交流おもてなし市民会議による活動の展開

○若い世代にも対応した広報の充実

- ・SNS等を通じたタイムリーなシティプロモーション活動の推進

○国内外の姉妹都市・友好都市等との交流の推進

- ・国際交流協会を核とした海外との交流促進
- ・ふるさと会、酒田北前大使その他酒田市と縁のある方々を活用した酒田ファンを増加させる取り組み

○ふるさと納税およびガバメントクラウドファンディングの推進

（2）「港」発の交流による賑わい創出

○庄内空港の利便性向上と利用促進

- ・LCCによる新規路線の乗客数増加に向けた取り組み
- ・庄内空港発着便の増便、運航ダイヤの改善、中型機の運航継続の要望
- ・庄内空港利用振興協議会を通じた広報宣伝事業や旅行企画商品の開発支援、国際チャーター便の誘致等

○クルーズ船等の寄港誘致による賑わい創出

- ・クルーズ船の船社や旅行代理店等に対するプロモーション活動
- ・ふ頭での歓迎行事、臨時観光案内所の設置
- ・酒田交流おもてなし市民会議による活動の展開【再掲】

○みなとオアシスを活用した賑わい創出

- ・みなとオアシスマつり等の開催
- ・港の魅力を高めるための施設の機能強化の要望

1. 結婚の支援

（1）結婚意欲が高く婚活を実施している独身者に対する支援

○結婚サポートセンター等による支援

- ・結婚サポーターや結婚推進員による個別支援、出会いイベントや結婚セミナーの実施
- ・やまがた出会いサポートセンターへの参画
- ・民間との連携による異業種交流会等の実施

（2）婚活を実施していない独身者に対する支援

○男女が自然に出会える機会の創出

- ・民間等と連携した自然な出会いの場の創出

（2）仕事と生活の調和の促進

○ワーク・ライフ・バランスの促進、就労環境の改善に向けた啓発

- ・働き方改革や男性の育児休暇等の取得促進などに関する企業向けセミナーの実施

○家事・育児への男性の参加促進

- ・男女が共同して家事・子育てを行うことの意義や喜びを理解するための学習機会の充実

○女性の就業への支援

- ・酒田雇用創造プロジェクトによる「再就職」と「キャリアデザイン」をテーマにしたセミナーの実施

2. 妊娠・出産・子育ての支援

（1）子どもを産み育てやすい環境づくり

○妊娠・出産・子育てに対する不安や負担感の解消

- ・子どもを持ちたい人に対する特定不妊治療費の助成
- ・子どもの医療費無料化、保育料軽減、副食費助成など子育てにかかる経済的負担の軽減
- ・産科、小児科などの医療機関や子育て支援機関と連携したきめ細やかな支援の提供
- ・利用（対象）者に届きやすい育児情報等の発信
- ・産前産後のサポートや産後ケアの充実
- ・子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」の運営と機能強化
- ・児童発達支援センターの機能強化と相談できる専門職の育成
- ・子ども食堂や無料学習教室等、地域での子育て支援活動への支援
- ・妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及啓発

○地域の実情とニーズに応じた子育て支援の充実

- ・子育て世代のニーズに応じた保育（延長保育、一時預かり、病児・病後児保育など特別保育事業）の充実
- ・保育所、学童保育所等の施設整備および保育士等の人材確保

○親子の遊び場づくりなど育児環境の整備

- ・ソフト事業実施を伴う屋内児童遊戯施設の整備
- ・子育て支援拠点施設の設置検討

○児童虐待の防止と早期発見および早期対応

- ・子ども家庭総合支援拠点の設置

3. 特色のある教育の推進

（1）確かな学力の向上

○酒田方式小中一貫教育の推進

- ・義務教育9年間の指導に系統性と一貫性を持たせた教育の推進

○英語教育等、社会のグローバル化に対応した教育施策の強化

- ・A L Tを活用した英語教育の強化
- ・I C T機器を活用した教育の推進
- ・（仮称）ライブラリーセンターと連携した読書に親しむ活動や環境づくり
- ・科学・ものづくり教育・プログラミング教育等の推進
- ・市と市内高等学校との連携事業の検討

1. 賑わいのある生活基盤づくりの推進

（1）魅力と賑わいの創出

○都市機能の再生

- ・酒田駅前地区第一種市街地再開発事業（（仮称）酒田コミュニケーションポート）の完成
- ・酒田中町二丁目地区第一種市街地再開発事業（新産業会館整備）の完成
- ・酒田商業高校跡地など山居倉庫周辺整備の実施
- ・既存ストック（旧割烹小幡など）の戦略的な活用

○拠点間（市街地内の拠点間、都市部と農村部、中心市と周辺市町）をつなぐ公共交通ネットワークの確保と都市機能の維持・活性化

- ・バス路線の再編およびバス路線廃止の代替交通手段の検討
- ・乗車人数の増加につながる取り組みの推進
- ・停留所の見直し
- ・モビリティマネジメントの継続

○鉄道路線の維持と利用促進

- ・（仮称）酒田コミュニケーションポートとの連携による酒田駅を核にした賑わいの創出につながる取り組みの推進
- ・沿線自治体や関係機関と連携した観光客向けのPR活動の実施
- ・2021東北デスティネーションキャンペーンと連携した事業の実施

（2）高速交通ネットワークおよび幹線道路の整備推進

○官民一体、地域一丸となった要望活動の継続

- ・高速交通ネットワークおよび幹線道路の整備推進にかかる要望活動の継続

（3）人材の育成と活躍

○地域共創人材の育成

- ・東北公益文科大学と連携した地域共創コーディネーターの育成
- ・地域活動のコーディネーターとなりうる各種専門人材の育成
- ・共創・協働のまちづくりに関する市職員の研修機会の充実

○市民活動の支援等

- ・ボランティア、市民活動に対する支援の拡充
- ・市民と行政の相互提案などによる協働の推進
- ・市民活動拠点の検討

（4）住民と行政の協働による地域運営

○まちづくり協働指針の策定

○コミュニティ活動への支援

- ・コミュニティ振興会の運営等に対する支援
- ・地域活動の拠点となるコミュニティセンターの整備・改修
- ・ひとづくり・まちづくり総合交付金を活用した地域計画策定と人材育成への支援
- ・コミュニティビジネスの展開支援

○外部人材の活用

- ・地域おこし協力隊員等の人材を活用した魅力ある地域・人づくりや都市住民との交流

（5）八幡、松山、平田地域と飛島の地域力強化

○地域の宝を活かした関係人口の創出

- ・地域の宝（資源）の維持保全活動への支援
- ・地域住民と都市の交流による関係人口の創出

○鳥海山・飛島ジオパークの活用

- ・鳥海山・飛島ジオパーク関連イベントの充実とジオガイドの養成、ビジターセンターの整備

○飛島の振興

- ・安全で安心して生活できるコミュニティ機能の維持
- ・水産業と観光を中心とした地域特性を活かした産業の振興
- ・自然環境の保全・活用と交流人口・関係人口の拡大
- ・島内外の人材の協働による島づくりの推進と移住・定住の促進

2. 安全・安心なくらしを守る環境づくり

（1）地域との連携でつくる安全・安心

○防災体制の強化

- ・各種災害に応じた実践型防災訓練、避難所運営訓練等
- ・地区防災計画の策定促進
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画作成および避難訓練実施についての意識啓発
- ・防災ラジオの普及
- ・スフィア基準を重視した避難所体制の強化

○防犯・交通安全対策の継続

- ・防犯協会などの関係団体との連携強化
- ・交通安全教育の推進および交通安全対策の継続
- ・運転免許自主返納の促進

○空き家対策の推進

- ・空き家所有者への適正管理に関する啓発・PR
- ・管理不全な空き家への個別対応
- ・民間団体と連携した空き家の利活用促進
- ・自治会空き家等見守り隊への支援

（2）健康でいつまでも活躍できる風土づくり

○健康寿命の延伸につながる風土づくり

- ・各種（乳、子宮、胃など）がん検診、若年者検診および特定検診等の受診率向上のための受診勧奨対策の強化
- ・関係機関と連携した健康増進の取り組み
- ・高齢者の居場所づくりや各種運動教室を中心とした介護度を維持改善する取り組み
- ・ライフステージに合わせた歯と口腔の健康づくりの推進
- ・市民が自発的に楽しみながら取り組むヘルスケアの推進
- ・中町にぎわい健康プラザ等の運動・健康増進施設の利用促進
- ・子どもころからの健康教育の充実
- ・健康づくり事業をはじめとする高齢者生きがい対策の推進
- ・関係機関と連携した受動喫煙防止対策の推進
- ・市民健康センターの移転も含めた拠点整備の検討

（3）上水道事業の広域化の推進

○山形県、本市、鶴岡市および庄内町の上水道事業の広域化に向けた取り組み

- ・上水道事業の広域化に向けた関係機関による課題の整理と検討
- ・山形県への要望活動の継続

（4）Society5.0を見据えた「くらし改革」の推進

○ICTの社会実装

- ・スマート社会推進のためのアドバイザーチームの立ち上げ
- ・Ma a S、シェアリングエコノミー、自動運転バス等の検討
- ・電子申請等オンライン化による行政手続きの簡略化
- ・マイナンバーカードを有効活用した行政サービスの提供

（5）公共施設の適正化の推進

○公共施設適正化3原則に基づいた公共施設の適正化の推進

- ・少子高齢化・財政状況を踏まえた公共施設適正化アクションプランの策定
- ・施設の大規模改修の優先度の検討